

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 26 年度

市町村名	川口市				
提案事業名	盛人大学を核とした地域連携によるまちづくり事業				
事業期間	平成24年4月 ～ 平成25年3月				
成 果 指 標	(成果を検証する指標) 地域との関わり指標				
	(成果検証の具体的な方法) ①地域団体が盛人大学の運営や事業に関わる延人数②受講生が地域の活動に関わる延人数				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A B C
	従前値 (24年3月時点)	①608人 ②120人	目標値 (25年3月時点)	①1,920人 ②1,320人	実績値 (25年3月時点) ①2,118人 ②1,095人
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) 7,000人 (実績) 7,456人	稼働率 (%)	(目標) 開館日100% (実績) 開館日100%	
	住民への公表状況 及び特記事項		ホームページに掲載する。		

【事業効果の整理・原因分析】

平成24年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 盛人大学キャンパス設置事業	○	年間利用人数が目標を上回る結果となった。キャンパス設置が、受講生を大幅に増やすと共に、その交流や活動の機会を広げるなど大きな効果があったことによると思われる。
② 盛人大学拡充事業	○	地域が盛人大学の運営及び事業に関わる人数は目標を上回り、受講生が地域に関わる人数は目標を若干下回ったものの、おおむね総合的に地域との関わりは従来よりも大幅に拡大した。事業拡充により、盛人大学が一般市民や地域に広く認知されてきた結果であると思われる。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	キャンパス設置及び事業の拡充により、盛人大学に関わる人たちの大幅な増加と活動の広がりに伴い、地域のヒト、モノ、カネが循環したことにより地域活性化につながると共に魅力あるまちづくりに十分な成果が認められたと思われる。
実施事業について 成果が不十分である点	受講生の地域への関わりについては、当初目標より下回ったが、これは当該年度だけでは十分成果が表れにくい面がある。卒業後の受講生がどう地域に関わっていくかを支援する必要がある。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	卒業後の活動の受け皿として、校友会を発足させる一方、卒業生自ら様々なサークルを立ち上げ地域の活動を始めていることから、今後も卒業後の活動を念頭に置いてその環境整備に努めたい。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない